

「高松第一高等学校校舎改築基本構想素案」のパブリック・コメント実施結果

本市では、平成26年4月23日から5月22日までの期間、「高松第一高等学校校舎改築基本構想素案」についてのパブリック・コメントを実施しました。いただいた御意見の要旨及びそれに対する本市の考え方を、以下のとおりまとめましたので、公表いたします。

1 意見総数 28件（6人）

2 いただいた意見の要旨及びそれに対する本市の考え方

※ 提出いただいた御意見は、趣旨を変えない範囲で、簡素化若しくは文言等の調整をしています。

※ 一人の御意見で複数項目ある場合は、項目毎の回答としています。

(1) 高松第一高等学校の在り方について

番号	御意見(要旨)	市の考え方
1	スポーツ系学科を設置すべきである。	高松第一高等学校は、普通科と音楽科を併設した進学校として実績を上げており、アンケート調査結果においても、現行の学科の継続を希望する意見が多いことから、スポーツ科の新設は考えておりませんが、部活動を通じて、優秀な人材の指導・育成に努めるとともに、改築に当たります場合は、体育施設の充実を図ってまいります。
2	進学校として、選抜試験を採用した専門コースを設定すべきである。	現在、選抜試験を採用した専門コースは設定していませんが、普通科において、より高度で専門的な内容を学習できる理科系の特別理科コース、また文科系の国際文科コースを設けており、進学校としての特徴をさらに伸ばす方向で、現行の学科・コースを維持することとしています。
3	学科・コースについては、普通科と音楽科を維持する中で、時代のニーズに合わせて特徴を出していけばよい。	
4	学科の新設は不要であり、現在の進学校としての路線を維持・向上すべきである。	
5	高松第一高等学校と高松第一学園とで、小・中・高一貫教育を導入すべきである。	本市の小・中学校は、住民基本台帳に基づき、就学すべき学校を指定しており、公平性、平等性の確保等の観点から、高松第一高等学校と特定の小・中学校との一貫教育については、考えておりません。

番号	御意見(要旨)	市の考え方
6	高松第一学園生徒が、高松第一高等学校で体験学習をするなど、高松第一学園との連携を図るべきである。	中学生を対象に、学校施設を公開し、学校説明や部活動見学などを行うオープンスクールなど、現在も種々の交流事業を実施しておりまして、今後とも、高松第一学園に限らず、小・中学校との連携を図ってまいります。
7	合同行事の実施など、小・中学校との連携を図り、優秀な人材を確保すべきである。	
8	8クラスの学校規模にこだわらず、学力の確保とのバランスに配慮したクラス数とすべきである。	高松第一高等学校の入学定員は県教育委員会の決定に拠るところですが、本市の15歳の人口推移を見ると、少なくとも平成40年頃までは現在程度の水準を維持すると推定しておりまして、県全体のバランスや学力の確保にも留意する中で、基本的には1学年8クラスという、現在と同様の学校規模を確保することが必要と考えております。
9	高松第一高等学校の存在意義について、高松市だけにとどまらず、香川県を牽引する人材育成といった視点が必要である。	香川県唯一の市立高校の存在意義として、将来の高松市を支える人材を育成することとしておりますが、それにとどまらず、国際社会や、国家、地域で活躍する人材の育成という高松第一高等学校の教育目標を基本構想に明記することとしております。
10	英語教育について、書いて読めるだけでなく、会話能力を身につけるような対策が必要である。	英語教育につきましては、姉妹都市招へい講師による指導など、会話も含めた能力の向上に努めておりまして、今後とも教育内容の充実を図ってまいります。

(2) 施設整備について

番号	御意見(要旨)	市の考え方
11	周辺住宅に日陰等の悪影響を及ぼす、安易な校舎の高層化には反対である。	改築整備に当たりましては、限られた敷地の有効活用を図るため、一定程度の高層化を検討しているところですが、生徒の安心と安全を堅持し、快適な学習環境を確保するとともに、周辺住民への影響に留意してまいります。
12	子供たちが静かに勉強できる環境とすべきである。	
13	近隣住民と共存できる環境(日照権、強風など)とすべきである。	

番号	御意見(要旨)	市の考え方
14	校舎の敷地面積が限られている現状を踏まえ、現在使用停止しているプール用地には、職員駐車場又は同窓会館を整備すべきである。	限られた敷地の有効活用を図るため、現在のプール用地も含めて検討しており、当該用地の活用方法につきましては、今後の設計段階で具体的に検討してまいります。
15	学生と教員、卒業生、近隣住民等が使用できる施設を作るべきである。	同窓会館の設置を検討するほか、災害時における地域住民の避難所としての機能の充実を図るなど、地域との連携を検討してまいります。
16	維持管理にかかる経費面も考慮しながら、震災等有事の際の拠点機能の充実も検討すべきである。	
17	エレベーターや手すり等、バリアフリーに対応した優しい施設とすべきである。	障がいのある生徒や保護者のほか、災害時には避難所となることから、ユニバーサルデザインの考え方にに基づき、誰もが安全かつ快適に利用できる施設となるよう検討してまいります。
18	<p>校舎・校庭については、高松市の教育の殿堂にふさわしい威風堂々とした外観・内観にしてほしい。具体的には、以下のことを検討すべきである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校歌に謳われている「屋島」等をモチーフとした歴史と伝統、変革と不易を感じさせるもの ・時計塔、天体望遠鏡等の設置 ・教科別特別教室と教科担当教員研究室の導入や、「図書(資料)・自習ラウンジ」の設置 	<p>校舎のデザインにつきましては、整備後の維持修繕コストに配慮しながら、県下唯一の市立高校にふさわしい、特色あるものとして考えております。</p> <p>また、教室や設備につきましては、安全性や機能性を踏まえ、生徒の教育活動の充実が図れるよう、今後の設計段階で具体的に検討してまいります。</p>
19	卒業生として、思い入れのある現在の校舎の建替えには反対である。耐震化工事も完了しており、ハード面に関しては緊急の課題はないと思う。	高松第一高等学校の主要な校舎は築45年以上が経過しておりまして、耐震化工事を実施しているものの、設備を含む施設全体の老朽化が顕著であるため、全面改築が必要と考えております。

番号	御意見(要旨)	市の考え方
20	図書館設備は、電子情報への対応を重視して充実を図ってほしい。	個々の施設整備の在り方につきましては、パブリックコメントの意見も参考に、今後の設計段階で具体的に検討してまいります。
21	野球グラウンドは、従来どおり桜町の敷地外とすべきである。	
22	理科の各分野での実験室を整備すべきである。	
23	情報処理関係の施設については、技術の進歩に柔軟に対応できるような施設にすべきである。	
24	生徒の栄養面に配慮し、食堂施設の充実と、管理栄養士の配置をすべきである。	食堂の施設や運営の在り方につきましては、今後検討を進めてまいります。
25	改築スケジュールについては、平成30年度着工を厳守してほしい。	改築工事につきましては、平成30年度着工を目指すこととしておりまして、今後、基本構想に基づき、早急に基本設計等を実施してまいります。
26	建築費が高位に推移する可能性が高いことから、予定価格の設定には十分配慮すべきである。	概算事業費につきましては、現時点では約80億円を見込んでおりますが、今後の基本設計の内容や、建築費の動向等により、相当の変動が考えられることから、必要な予算を確保してまいります。
27	将来の高松市のみならず、香川県や日本を牽引する人材を育成する環境整備という観点から、十分な予算措置を講じられたい。	
28	校舎建て替えに当たっては、地域や市民の理解が得られるようなものとするほか、高松第一高等学校の現況や将来的な環境、教育目標等に沿った長期的な視野に立つべきである。	校舎改築に当たりましては、パブリックコメントの意見も参考に、長期的な視野に立って検討を進めるとともに、地域や市民の皆様の理解が得られるよう、改築の内容につきましては適切に周知を図ってまいります。